

# BUSINESS REPORT 2020

第64期 年次報告書

2019.4.1~2020.3.31



株式会社田中化学研究所

## 株主の皆様へ

平素より格別のご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

当社の第64期決算期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業の概況及び決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

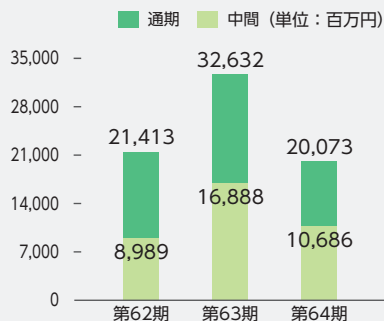


株式会社田中化学研究所  
代表取締役 社長執行役員

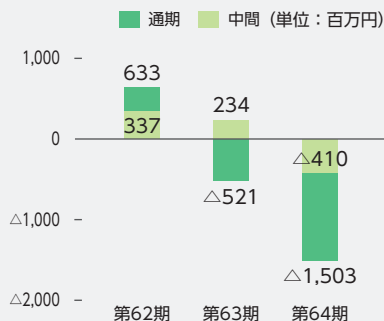
横川 和史

## 財務ハイライト

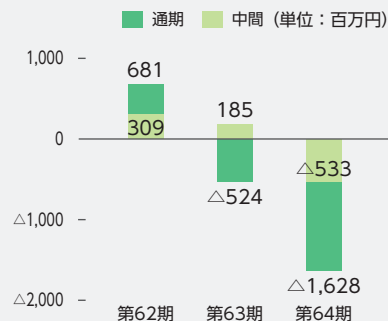
### 売上高



### 経常利益



### 当期純利益



## 事業の概況

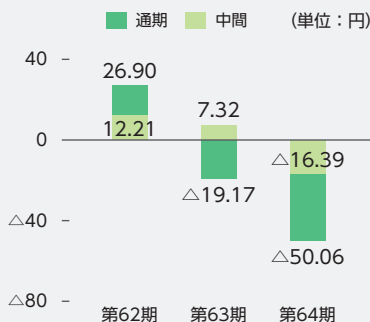
当事業年度における二次電池業界は、当初の市場拡大基調から一変し、中国の新エネルギー車向けの補助金減額に加えて新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、新エネルギー車を含め自動車需要が減少に転じております。これらを受けて中国では低迷する消費の刺激策として新車購入の補助金創設や所有制限緩和の政策を打ち出しております。また、中長期的には新エネルギー車用途をはじめとした二次電池の需要拡大が見込まれることから、次世代電池の開発促進や電池部材の調達を多様化するなど新たなサプライチェーン構築の動きが活発化しております。

このような市場環境の中、当社といたしましては中期的に拡大する需要に対応する為、前事業年度から翌事業年度にかけてリチウムイオン及びニッケル水素電池向け製品の増産体制の構築に向け取り組んでおります。

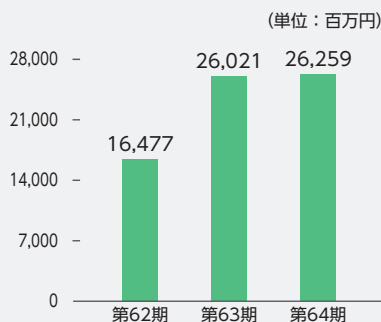
業績面は、リチウムイオン電池車載用途向け製品において、主要顧客の仕様変更の対応遅れから期央にかけて販売が減少いたしました。加えて、中国市場における補助金減額や新型コロナウイルス感染拡大から、新エネルギー車の販売減少の影響を受け、同用途向け製品の生産調整を余儀なくされました。また、同電池民生用途向け製品においても電動工具向け等最終製品の需要減少の影響から販売数量が減少いたしました。さらには、厳しい競争を強いられている中、販売価格においても顧客からの要求に対して対応を余儀なくされている事に加えて、コスト面においても中期的な増産に向けた設備投資や組織人員体制を強化していることから減価償却費及び労務費を中心に経費が増加し、採算面では非常に厳しい状況が続いております。

また、当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場において、前年第2四半期より徐々に下落

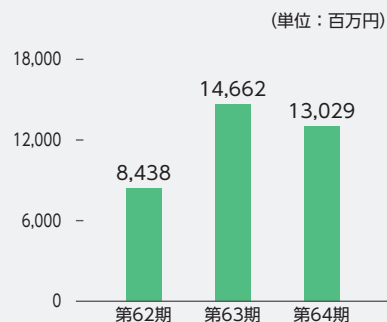
### 1株当たり当期純利益



### 総資産



### 純資産



をはじめ前期末にかけてニッケルは約70%、コバルトについては約30%の水準にまで下落し、当期末にかけても大きな変動なく推移したため、売上高においては前事業年度と比べ大きな減少要因となっております。

以上の結果、売上高20,073百万円（前事業年度比38.5%減）、営業損失1,365百万円（前事業年度は営業損失494百万円）、経常損失1,503百万円（前事業年度は経常損失521百万円）、当期純損失は1,628百万円（前事業年度は当期純損失524百万円）となりました。

主要な製品用途別の販売数量の概況は以下のとおりです。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

### 【リチウムイオン電池向け製品】

前事業年度比で25.3%の減少となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・ 車載用途は、主要顧客向け製品において仕様変更の対応に時間を要したことから一時的に販売数量が減少したことに加えて中国市場の調整局面の影響を受けて生産調整を余儀なくされた結果、前事業年度比で18.8%の減少となりました。
- ・ 民生用途は、最終製品の需要減少の影響から販売数量が減少し、前事業年度比で32.3%の減少となりました。

### 【ニッケル水素電池向け製品】

前事業年度比で17.6%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・ 車載用途は、HV車の好調を背景に主要顧客からの受注が増加基調で推移しており、前事業年度比で22.4%の増加となりました。
- ・ 民生用途は、市場縮小から前事業年度比で21.3%の減少となりました。

## ご参考

(ニッケル国際相場：円換算) (単位：円/kg)

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
2020年3月期	1,360	1,691	1,686	1,400
2019年3月期	1,592	1,489	1,307	1,378

(コバルト国際相場：円換算) (単位：円/kg)

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
2020年3月期	4,028	3,729	4,186	4,199
2019年3月期	10,429	8,741	8,089	4,483

※ニッケル LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均  
コバルト LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

## 私たちは「正極材料メーカー」です。

主要製品である正極材料は、リチウムイオン電池やニッケル水素電池などの「高性能二次電池」に使用されています。当社の開発した正極材料を使った製品が街中にあふれ、現代社会のあらゆる場所で活躍しているのです。

### 当社の主力製品



三元系正極材料



ニッケル系正極材料



水酸化ニッケル



水酸化ニッケル  
(コバルトコート品)

より良い電池を生み出すために、当社の社員は日進月歩で進化する高性能な正極材料の開発・製造に挑んでいます。

### 二次電池

リチウムイオン電池

ニッケル水素電池

二次電池とは？  
充電することで電気を蓄え、繰り返し使用できる電池のことです。

### 最終製品イメージ



タブレットPC・ノートパソコン・  
電気自動車・電動工具など



ハイブリッドカー・  
乾電池型二次電池など

暮らしに欠かせないスマートフォンを毎日のように充電して使えるのは、二次電池があるから。  
ノートパソコンや電気自動車も二次電池が原動力になっています。

私たちは**先進テクノロジーを支える存在**です。

テクノロジーの進化に伴い、当社が開発した正極材料を使った製品はますます街中にあふれていきます。

# 個別財務諸表

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期 (2019年3月31日)	当期 (2020年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>16,065,219</b>	<b>9,147,016</b>
現金及び預金	2,035,756	1,014,256
受取手形及び売掛金	2,748,772	2,579,100
電子記録債権	129,763	275,298
商品及び製品	1,051,275	1,162,426
仕掛品	1,846,643	1,830,606
原材料及び貯蔵品	1,078,584	923,739
グループ預け金	6,500,000	700,000
その他	674,424	661,589
<b>固定資産</b>	<b>9,956,315</b>	<b>17,112,787</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>9,717,464</b>	<b>16,995,058</b>
無形固定資産	6,721	6,256
<b>投資その他の資産</b>	<b>232,129</b>	<b>111,472</b>
その他	232,580	111,923
貸倒引当金	△ 451	△ 451
<b>資産合計</b>	<b>26,021,535</b>	<b>26,259,804</b>

科目	前期 (2019年3月31日)	当期 (2020年3月31日)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>9,225,408</b>	<b>8,365,941</b>
支払手形及び買掛金	3,607,065	1,205,506
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	46,125	49,500
引当金	139,993	93,183
その他	5,132,225	6,717,752
<b>固定負債</b>	<b>2,133,702</b>	<b>4,864,294</b>
長期借入金	2,100,000	4,800,000
その他	33,702	64,294
<b>負債合計</b>	<b>11,359,111</b>	<b>13,230,236</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>14,646,689</b>	<b>13,018,228</b>
資本金	9,155,228	9,155,228
資本剰余金	6,662,707	6,662,707
利益剰余金	△ 1,169,168	△ 2,797,630
自己株式	△ 2,077	△ 2,077
評価・換算差額等	15,734	11,340
その他有価証券評価差額金	15,734	11,340
<b>純資産合計</b>	<b>14,662,424</b>	<b>13,029,568</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>26,021,535</b>	<b>26,259,804</b>

## 損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	前期	当期
	(自2018年4月1日 至2019年3月31日)	(自2019年4月1日 至2020年3月31日)
売上高	32,632,135	20,073,981
売上原価	31,438,019	19,565,886
売上総利益	1,194,116	508,095
販売費及び一般管理費	1,688,170	1,873,169
営業損失 (△)	△ 494,053	△ 1,365,073
営業外収益	41,537	9,182
営業外費用	68,586	147,224
経常損失 (△)	△ 521,102	△ 1,503,115
特別利益	4,676	280,806
特別損失	15,443	277,264
税引前当期純損失 (△)	△ 531,870	△ 1,499,572
法人税、住民税及び事業税	7,780	8,018
法人税等調整額	△ 14,748	120,870
当期純損失 (△)	△ 524,901	△ 1,628,461

## 役員の状況

(2020年6月26日現在)

代表取締役 社長執行役員	横川和史	
取締役会長	茂苅雅宏	
取締役	久野和雄	
取締役	小坂伊知郎	
取締役	田中浩	
取締役 (監査等委員)	大嶋哲夫	
取締役 (監査等委員)	増田仁視	
取締役 (監査等委員)	井上毅	
副社長執行役員	大畑尚志	(企画、総務人事、経理・システム、 購買物流、情報開示担当)
執行役員	嶋川守	(製造技術、製造、設備、品質管理、IR担当)
執行役員	田中学	(営業、原料担当)
執行役員	中根堅次	(RC、研究開発担当)

## キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	前期	当期
	(自2018年4月1日 至2019年3月31日)	(自2019年4月1日 至2020年3月31日)
I 営業活動による キャッシュ・フロー	2,524,968	△ 2,042,256
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,212,626	△ 7,356,117
III 財務活動による キャッシュ・フロー	6,276,728	2,557,243
IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額	1,577	19,631
V 現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	5,590,647	△ 6,821,499
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	2,945,108	8,535,756
VII 現金及び現金同等物の 期末残高	8,535,756	1,714,256

## 株式の状況

(2020年3月31日現在)

- ①発行可能株式総数 普通株式 47,000,000株
- ②発行済株式の総数 普通株式 32,533,000株
- ③株主数 13,124名
- ④大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
住友化学株式会社	16,407,200	50.43
田中保	1,264,200	3.89
株式会社三菱UFJ銀行	460,000	1.41
田中浩	300,000	0.92
株式会社福井銀行	300,000	0.92
住友商事株式会社	250,000	0.77
田中弘	210,000	0.65
住友生命保険相互会社	210,000	0.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	191,000	0.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	186,900	0.57

(注) 持株比率は自己株式(1,086株)を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel : 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQ市場)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.tanaka-chem.co.jp/">http://www.tanaka-chem.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告いたします。)

## 会社概要

商号	株式会社田中化学研究所
設立	1957年12月
資本金	9,155,228千円
主な事業内容	二次電池用の正極材料の製造販売
従業員数	282名
住所	〒910-3131 福井県福井市白方町45-5-10
電話番号	0776-85-1801 (代)
ホームページ	<a href="http://www.tanaka-chem.co.jp/">http://www.tanaka-chem.co.jp/</a>



最新の当社IR情報等  
ご覧いただけます。

(2020年3月31日現在)

## お知らせ

### 株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。